

令和7年度 第5学年 学級経営案

男 10人 女 20人 合計 30人 担任 津崎 香音

学校教育目標

ふるさとを愛し、一人一人が輝く
徳・知・体の調和のとれた児童の育成

- 【なかよく】 思いやりをもち、助け合う児童
- 【かしこく】 進んで学び、よく考える児童
- 【元気よく】 たくましく、ねばり強い児童
- 【ふるさと】 郷土に学び、郷土を愛する児童

湯前っ子5つのすがた「あいうえお」
あ 明るいあいさつ、大きな返事
い いい聞き方、目、耳、心で
う 美しい場所、もくもくそうじ
え 笑顔の言葉、思いやり
お 落ち着いた生活、守ろう時間

学級目標

- 思いやりの気持ちを持ち、お互いに助け合い、協力することのできる児童（なかよく）
- 何事にも意欲的に取り組み、進んで学び、積極的に挑戦することのできる児童（かしこく）
- 礼儀正しく生活し、先取りあいさつ、元気な返事をする児童（元気よく）

具体的な取組

評価

I II III

目標する児童像	かしこくなれる学力	1 話の聞き方や姿勢など学習規律の徹底を図り、集中して学習に取り組める環境をつくる。		
		2 考えを共有する場を適宜設定し、多様な考えに触れることで、視野を広げることができるようにする。		
		3 家庭学習に漢字・計算を取り入れ、基礎的な技能の定着を図る。		
		4 教材・教具の工夫により、児童の学ぶ意欲を引き出すとともに、分かりやすい指示、学びを深める発問を行うことで、できる・わかる授業に努める。		
	豊かな心	1 日頃から声かけを行い、進んで挨拶や返事、場に応じた言葉遣いや礼儀、マナーができるようにする。		
		2 責任を持って日直や当番活動等ができるよう声掛け・見取り・評価を行い、全員に居場所がある教室づくりをする。		
		3 帰りの会で友達の頑張りや良さを認め合う場を設定し、自己肯定感を高める。		
		4 教師が児童のよさを認め、ほめる姿を積極的に示すことで、学級全体で互いのよさを認め合える雰囲気を作る。		
	元気な健身体	1 休み時間の外遊びや、体育科の授業において十分な運動量を確保することで、児童の体力の向上を図る。		
		2 集団宿泊を見据え、規則正しい生活リズムが意識できるようにする。		
		3 安全に生活するためにふさわしい行動について日常的に指導を行うことで、児童の安全・防災意識を高める。		
	郷土愛	1 総合的な学習の時間で湯前町の特産品を調べる活動を通して、湯前町についての理解を深める。		
		2 総合的な学習の時間での米作りを通して湯前町の農業へ関心を高める。		
		3 各教科等で地域の人材を活用した学習を行うことで、郷土を大切にする気持ちを高める。		
	特別支援教育	1 学校アンケートや教育相談等により、児童の思いをよく聞き、寄り添うとともに、安心して生活できる教室環境をつくる。		
		2 特別支援学級担任と情報共有し、教室環境の整備や学級づくりを行う。		
		3 支援員の先生との情報共有を通して児童の困り感を把握し、個別の支援を行う。		
		4 学習意欲の喚起と視覚的配慮の観点から、ICT機器を活用する。		

学期評価（達成状況 達成← 4、3、2、1 →未達成）